

# 都市再生整備計画(第5回変更)

か も な か ち く  
加茂中地区

しまねけん うんなんし  
島根県 雲南市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	島根県	市町村名	雲南市	地区名	加茂中地区	面積	94 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

<p><b>目標</b></p> <p><b>大目標：誰もが快適に暮らせる住環境整備の促進と、楽しく学べる教育・文化環境の充実</b></p> <p>目標1：少子高齢化に対応した快適な住環境の整備</p> <p>目標2：住民が学び集う生涯学習環境の充実</p>	
<p><b>目標設定の根拠</b></p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>(旧)加茂町は人口の著しい減少こそ無いが、少子高齢化が進み高齢化率が25%を越えている。このため、青年団や自治会などが行う地域活動に参加する若者が減少しており、地域コミュニティの活力が衰退しつつある。平成16年11月に近隣5町村と合併し、「雲南市」として新たに生まれ変わり、その新市建設計画で加茂地域は、松江・出雲圏のベッドタウンとして位置づけられ、少子高齢化に対応した快適な居住環境の整備と、生涯学習や文化・スポーツの振興、貴重な文化財を活かしたまちづくりを進めていくこととしている。特に貴重な文化財を活かしたまちづくりについては、日本最多の39個の銅鐸が発見された加茂岩倉遺跡や景初三年銘の銅鏡が発見された神原神社古墳などがあることから重要視されており、銅鐸が出土した全国4市町で「銅鐸サミット」を開催するなど銅鐸を活かしたまちづくりを推進しているが、出土品は何れも国の重要文化財のため、地区外の保管設備が整っている施設で保管されている状況である。</p> <p>加茂中地区は、(旧)加茂町の中心市街地であって、地区内には鉄道駅を中心に商店が連なっているが、マイカーの普及や郊外への大型店舗の進出等の影響を受け、商店街は賑わいを失っており、近年は空き店舗も目立つようになってきた。また、商店街を含む周辺道路は、高齢化社会に対応した整備がされていないため、商店街を安全に歩けなくなっていることも賑わいを失っている一因と考えられている。このような状況の中、平成15年7月に地元自治会と加茂町商工会により中心市街地活性化検討会が組織され、まちの賑わいの再生に向けた検討が始まり、平成16年2月には市街地整備と商業の活性化についての要望書が提出されている。</p> <p>これを受けて、中心市街地活性化基本計画の策定に向け検討を進めている。具体的には、地域住民による中心市街地活性化計画策定委員会の開催(12回)、住民を対象としたアンケートの実施(配布1,400票、回答率59%)、ワークショップの開催(2回、参加者延べ100人)などを行い、地域住民のニーズを踏まえた計画づくりに取り組んでいる。</p> <p>また、平成16年4月には行政担当者による公共施設整備検討プロジェクトを設置し、教育・文化・少子高齢化・施設整備など各方面での施策を総合的に検討し、中心市街地の整備と地域コミュニティの確立による地域社会の活性化を目標とした地域再生計画を策定し、同年6月に認定されている。</p>	
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の重要文化財の出土品を展示・保管する施設がないため、地域の貴重な財産が地域の活性化に活かされていない。</li> <li>・住民による自治会活動や生涯学習などのコミュニティ活動の場が身近に整備されていない。</li> <li>・地区内の道路は安全に歩ける歩道が整備されておらず、商店街の賑わいに支障をきたしていると共に、バリアフリー化が施されていないことから、子供や高齢者、身体障害者が歩行しづらい状況である。</li> <li>・中心市街地では経営者の高齢化により空き店舗の増加が顕著になってきた。</li> <li>・定住の場となる住宅団地が不足しているうえ、若</li> </ul>	
<p><b>将来ビジョン(中長期)</b></p> <p><b>未来の夢と心を育む、生活創造タウンへの飛躍</b></p> <p>第4次加茂町振興計画では「遊学の郷・加茂」をキャッチフレーズに、地域活性化事業の推進として地域づくり事業や地域イベント、生涯学習や生涯スポーツなどそれぞれの事業や施策をリンクさせ、住民と行政の協働により住みよい環境を創出し、魅力あるまちづくりを進めることによる定住対策や交流人口の増加、また本地域には遺跡や文化財など地域資源が数多くあることから、文化財を活かしたまちづくりが計画されていた。</p> <p>これを引き継いだ新市建設計画では、(旧)加茂町の特性である歴史・教育・文化資源を活用して交流活動を推進し、誰もが快適に安心して暮らすことができる定住環境の充実を図り、雲南市の魅力あふれるベッドタウンを目指す。</p>	

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1.住民が住みやすくなったと思う割合	%	事業により居住環境が向上したと思う住民の割合	事業による居住環境の向上により、地域が住みやすくなったと思う住民の割合をアンケートにより調査する。これは良好な居住環境を地域へ提供することにより、人口流出を抑制し定住を促進することを効果として見込む。	0	平成16年度	35	平成21年度
2.生涯学習教室の開催回数	回/年	生涯学習教室の開催回数	加茂公民館周辺エリアで開催されている生涯学習教室の開催回数を指標とし、既存施設と今回整備する施設を利用した開催回数を計測する。	120	平成16年度	300	平成21年度
3.地区内人口	人	住民基本台帳による地区内の居住人口	定住対策の受け皿として既存の公的住宅及び民間アパートなどの利用促進と、分譲宅地の造成を行い、定住人口の増加を図ることから、中心市街地人口の増加を指標とし、従前値に対し3%増加を見込む。	1,500	平成16年度	1,550	平成21年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1(居住環境施設の整備)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の住みやすさを向上させるため、歩道の設置や歩車共存道路など安心して歩ける道路の整備を行う。</li> <li>・道路整備に際し交通体系の見直しを図るため、社会実験により整備後における道路の利便性などを検証する。</li> <li>・道路や施設における景観製品の選定に際して、ワークショップにより地域住民の意見を聴取して決定する。</li> <li>・都市防災機能として、既存防火施設が消火栓でありライフライン停止時の対策が必要であるため、新町交差点広場整備敷地に広場整備併せ、地下式防火水槽(40m3)を設置する。また、(仮称)のびのび広場整備敷地に広場整備に併せ、既設の開放型防火水槽を撤去し、既存施設と同規模の耐荷性の地下式防火水槽(100m3)を設置し、転落事故等に対する安全度を高め、上部は広場の駐車場として有効利用する。</li> <li>・保育所の移転に伴い不必要となった既存施設を利用し、少子化対策として子育て支援センターを設置する。</li> <li>・地区内を流れる1級河川斐伊川水系赤川は、ラブリバー事業及び桜堤事業により整備されており、毎年6月の環境月間には地域住民による一斉清掃などが実施されていることから、地域住民の憩える水辺の空間として活用できるよう継続的な維持管理を行う。</li> <li>・地域住民に憩いの場を設け居住環境の向上を図ると共に、地域防災の観点から住宅密集地へ広場を設置する。また、広場には車椅子利用者など身体に障害を持つ方も利用可能な福祉トイレを設置する。</li> </ul>	<p><b>【基幹事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備事業(道路): 県道加茂中停車場線、市道本町線、市道加茂中央1号線、市道神原堤防線</li> <li>・地域生活基盤施設(広場): 新町交差点広場</li> <li>・高質空間形成施設(福祉トイレ): 新町交差点広場トイレ整備</li> <li>・高質空間形成施設(緑化施設等): 街路灯</li> <li>・高質空間形成施設(緑化施設等): 市道加茂中央1号線</li> </ul> <p><b>【提案事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり活動推進事業(社会実験): 交通体系見直し</li> <li>・まちづくり活動推進事業(ワークショップ): 景観製品のデザイン選定</li> <li>・地域創造支援事業(地域防災施設): 新町防火水槽(40m3)</li> <li>・地域創造支援事業(地域防災施設): 東町防火水槽(100m3)</li> </ul> <p><b>【関連事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援施設整備(雲南市): 子育て支援センター</li> <li>・宅地分譲事業(雲南市土地開発公社): 雲並団地</li> <li>・水辺の空間活用(雲南市): 赤川左岸河川公園の維持管理</li> </ul>
<p><b>整備方針2(生涯学習施設の充実)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の資質向上のため、図書館の整備を行う。</li> <li>・旧幼稚園舎を含む加茂公民館周辺エリアは、町村合併の前から生涯学習教室や子育て支援など少子化対策の事業が展開されていた。合併後においても事業は継続されており、特に多世代交流など地域の課題である少子高齢化対策とした事業も多く含まれている。そのため旧幼稚園舎及び周辺の空き施設を整理し、跡地を利用した拠点づくりが求められていることから、(仮称)のびのび広場の整備を行う。</li> </ul>	<p><b>【基幹事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活基盤施設(広場): (仮称)のびのび広場</li> </ul> <p><b>【関連事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習施設整備(雲南市): 図書館</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <p>事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動として開催するイベントや拠点となる新町交差点広場は、地元商店街において管理運営を行い、地域の自主性を見出すことにより継続性を持たせることが可能となる。</li> <li>・公共施設整備に対しアンケートや住民参加によるワークショップを開催することにより、公共施設への関心が高まることで施設の維持管理など地域としてのボランティア活動へとつながる。</li> <li>・加茂公民館と子育て支援センターの隣接地へ(仮称)のびのび広場を整備することで、生涯学習や少子化対策の拠点となり更なる事業展開が期</li> </ul>	

